



2024年5月29日

各位

会社名 株式会社デュアルタップ
代表者名 代表取締役社長 白井 貴弘
(コード：3469 東証スタンダード市場)
問合せ先 執行役員 経営企画室長 大野 慎也
(TEL. 03-6849-0055)

新たな取組み（中古住宅のリノベーション再販事業）の開始と 販売用不動産の購入に関するお知らせ

当社は、本日下記のとおり販売用不動産の購入を決定いたしましたので、お知らせいたします。
なお、本案件につきましては、当社の新たな取組みの一つであります中古住宅のリノベーションによって、品質・デザイン面において付加価値を高め、販売する予定です。

記

1. 物件の概要

所在地： 東京都渋谷区富ヶ谷1丁目
用途： 共同住宅（区分一部）
専有面積： 107.66㎡

2. 購入先及び取引の概要

購入先及び取引内容の詳細等につきましては、購入先との守秘義務により公表を控えさせていただきます。
なお、当社と購入先との間には、記載すべき資本関係・人的関係及び取引関係はございません。

3. 購入決済日

2024年5月29日

4. 今後の見通し

当該物件の購入に際し、2024年6月期の連結業績に与える影響は軽微であります。
なお、当該物件の期間損益への寄与は、2025年6月期に計上となる見込みであります。

5. 取組みの背景

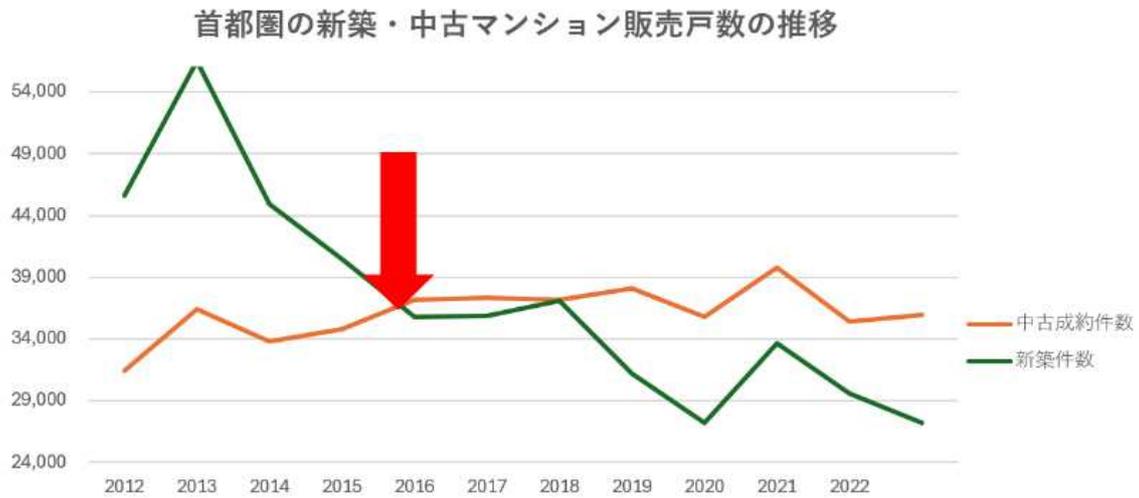
中古・リノベーション住宅市場は、コロナ禍以降、低コストでより快適な居住空間を望む方が増えるなど、中古住宅のリフォームやリノベーションによる需要が拡大傾向にあります。国土交通省の建築物リフォーム・リニューアル調査によると、2022年度の住宅系工事の受注額は、3兆9,200億円と前年度比4.6%増加しました。

当社が注目している中古住宅（マンション）市場においても、近年顧客ニーズの多様化とともに流通量が拡大しております。首都圏では2016年に中古マンションの取引戸数が新築マンションの着工戸数を

上回り、今後も拡大傾向にあると予想されます。

また、一般的にマンションの築年数が 25 年を超えると、リノベーションやメンテナンスが必要とされ、2015 年に 3 割程度であった築 25 年以上の首都圏の中古マンションの比率は、2025 年には全体の半分となるとも言われております。

当社では、新たな試みとして顧客ニーズに基づき、リノベーションによって機能性を重視し、高付加価値なサービスを提供することを目指してまいります。



出典：既存住宅取引戸数：東日本不動産流通機構「首都圏不動産流通市場の動向」
新築着工戸数：株式会社不動産経済研究所「首都圏新築分譲マンション市場動向」

以上